

# 統計学基礎 練習問題

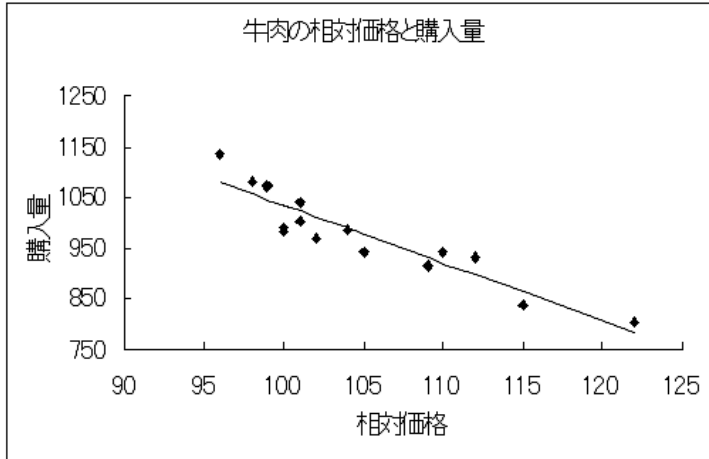
## 第30回 総復習(2)

2018年1月30日

問1 世帯における牛肉の購入量は、その相対価格の影響を受けていると考え、

$$y(\text{1世帯当たりの年間平均購入量}) = a + bx(\text{相対価格})$$

という式を用いて、最小2乗法による回帰分析をおこなった。



散布図に回帰直線を描き入れたものが左図である。

1. 推定された回帰式は、 $y = 2173.6 - 11.39x$ であった。このとき、下の文章の空欄をうめ、適切な選択肢を選び、文章を完成させよ。ただし、[ ]には式、\_\_\_には語句、には数値が入る。

相対価格が1増えた時、1世帯当たり年間平均購入量は  {(a) 増える (b) 減る}。したがって、相対価格が90のときの1世帯当たり年間平均購入量の予測値は  となる。

2. この回帰直線のあてはまりをしめす決定係数  $R^2$  は、次の(あ)、(い)、(う)のうち、どれが適当であろうか。適当なものを○で囲め。

- (あ) 0.485
- (い) 0.857
- (う) 0.124

問2 袋の中に赤球5個、白球3個の計8個の球が入っているとす。このとき、

(1) 2個の球を続けてとりだす。(ただし、とりだした球は袋に戻さない)1個目にとりだした球が赤球であるとき、2個目の球が白球である条件つき確率を求めよ。

(2) 2個の球を続けてとりだす。(ただし、とりだした球は袋に戻さない)このとき、とりだした球が両方とも赤球である確率を求めよ。

(3) 「1個の球をとりだして、球の色を確認し、とりだした球を袋に戻す。」という操作を3回繰り返すとき、とりだした球の色が1回だけ赤球となる確率を求めよ。